

第11回湘南国際村めぐりの森 植樹・育樹祭 (2016年5月8日)



約600人が集い宮脇昭先生(横浜国大名誉教授)が提唱される「本物の木による本物の森づくり」を目指し、22種類・2,000本の苗木を植樹しました。

今回は、次の企業・団体様のご支援を得て、進和学園・湘南の風・横須賀ヘーメットで働くメンバーが栽培した苗木1,790本をご利用頂きました。心より感謝申し上げます。

(株)サン・ライフ様 : 1,190本
(進和学園いのちの森づくり基金へのご寄附を通して)
本田技研工業(株)様 : 300本
(進和学園いのちの森づくり基金へのご寄附を通して)
三井住友海上火災保険(株)様 : 200本
(進和学園の苗木をご購入の上、ご寄贈！)
ライオンズクラブ 330-B9R-2Z 様 : 100本
(進和学園の苗木をご購入の上、ご寄贈！)



開会式の後、植樹作業前に全体集合写真を撮影！



開会式：
ご来賓の方々による樹種名
連呼のセレモニー
(株)サン・ライフ様(上)
三井住友海上様(左)



植樹方法の説明



皆で力を合わせて！命を大地に植える貴重な体験は、自然を大切にする豊かな心を育みます！



育樹
(除草)
作業



タブノキ！



(株)サン・ライフ様と進和学園 & 研進メンバー



研進 & 進和学園ブース



新登場：いのちの森づくりクッキー

三井住友海上の皆さん

その土地本来の木(潜在自然植生)である常緑広葉樹を中心に密植・混植します。
2～3年間の育樹(除草)作業を要しますが、その後は自然淘汰に委ねます。自然の森は、環境保全及び防災にも役立ち、私達の命を守ってくれます。